

Business Correspondence の理論と実際 (7)

中 村 賢 二 郎

貿易通信文に於ける Credit Information の研究

(前號に於て、私は Circular Letters に就ける貿易通信關係の事柄を書いてみた。本號に於ては、貿易通信事務上よりみた海外取引先信用調査關係のものを、少しばかり述べて、コレボン研究者の参考に資せんと試みた。)

(一) Terminology (用語) 上よりみたる Credit,

研究の順序 Credit の用語を列擧して、参考に供してをく。

(1) Bookkeeping よりみたる Credit。これは申すまでなく、Debit に對するものである。

I have placed the money to your credit. (名詞)。

(右金額は貴方貸方に記入致置候)

We will credit you with all returns on receipt.

(受取次第、返送品全部は、貴店へ貸方記入可仕候)

The amount has been duly passed to the credit of your account as usual.

(例の如く、右金額は貴店貸方に正に組入申候)

(註) your credit も to the credit も共に the credit side of account を意味し、動詞の credit には其の貸記すべきものに対して with を冠することを知るべし。

(2) Credit transaction (信用取引)。これは Cash transaction (現金取引) の反対であつて、Credit account (掛取引) Sale on credit (信用賣買)。米國では Charge account と云つてをる。

Credit transactions involve the locking up of Money or capital with consequent loss to sellers.

(信用取引は貨幣又は資金の固定を意味し、其の結果賣手に損失を與へるものである。)

We should be pleased to know to what amount we may safely grant this firm credit.

(どの程度の金額まで、この商會に對し信用を與へて安全に候や、御一報願上度候)

Please inform us if he is worthy of credit for ¥10,000.

(同人は金壹萬圓の信用有之候や御通知被下度候)

We wish to say that the firm referred to enjoys an unlimited Credit.

(御照會の商社は無限の信用を有し居候)

(3) Letter of Credit (信用狀)。米國にては單に Credit と稱すること多し。

To cover this transaction we have opened a credit in your favour for \$ 10,000.

(本取引に對し、貴店受取として金壹萬弗也信用狀を開始仕候)

Please note on the back of Letter of Credit each payment you may make.

(御拂渡金は其の都度、信用狀裏面に記載被下度候)

其他の用語をあげてすれば

Traveller's Credit. (旅行者信用狀)——Circular letter of credit と云ふ。

Documentary Credit (荷爲替信用狀)

Banker's Credit (銀行信用狀)

Confirmed Credit (確認信用狀)

Irrevocable Credit (不取消信用狀)

Course of Foreign Exchange (外國爲替相場) は毎日の新聞に發表されてあるが、其の中に次の如きがある。

Buying, Credits, sight.....

(買入値段……信用狀附一覽拂手形……)

(4) Credit note (貸方票)。米國では Credit Memorandum と云ひ、周知の如く、債務者が債權者の權利を認

め、其の債権者の勘定の貸方に記入せる旨を通知する通知票である。

We wish to enclose Credit note for ¥ 10,00 being an allowance made on faulty goods.

(不正品に對する折合として金拾圓也の貸方票封中致置候)

We will immediately send you a credit note for the money to cover the difference between steamship and railway rate.

(船賃と汽車賃の差額に對する金額として、貸方票を早速送付可致候)

(5) Credit System (信用制度)。信用組織とも譯す、金融機關として銀行の如きは其の一である。

(6) Credit Insurance (信用保險)。掛代保險、資力保險とも譯せられ、Bad Debts (掛ケ倒れ) の如き Insolvency (仕拂不能) の Risk を填補するもので、米國に於て創められたものである。

(7) Credit Instruments (信用證券類) 即ち、Acceptances (引受手形)、Bills of Exchange (爲替手形)、Checks (小切手) 等の如きを云ふ。

(8) Credit の英語成句。

to open a credit (信用貸を始める)

to gain (lose) Credit with (信用を獲(失ふ)る)

to deal on credit (信用取引をする)

to maintain the credit (信用を維持する)

to seek credit (信用を求める)

to give credit (信用を與へる)

to extend Credit (信用状の期限を延長する)

(9) Code Book に於ける Credit なる語

下記は Western Union Telegraphic Code と A. B. C. Code の中にて Credit なる用語を研べてみたことを書いてみたのである。Code Book 六種の中にて用法の数最も多きものは Western Union であつて、300 以上を包含してをるので Credit に關する打電は大抵要求を充しうると思ふ。其の次は A. B. C. 第六版であつて、これは 180 餘をもつてをる。この二種の Codes に發表してある用法を區別してみれば、

1. Letter of Credit につけるもの (大多數)
2. Advice of Credit につけるもの (僅少)
3. Credit note につけるもの (僅少)
4. Account Credited につけるもの (僅少)

これ等の用語を研究すれば、今日主として貿易通信に用ひらるゝ幾多の expressions を發見することができるので、序ながら Code-book English の研究を勧めてをく。

(Credit の語意)、Etimologg (言語學) 上より少し研べてみるなれば、Credit は Latin (ラテン語) の Credo (I believe—吾れ信ず) より生れてきたもので、逆つては、Sanscrit (梵語) の Crad (trust—信用) と、Latin の do (to place—置く) と云ふ二語の Combination である。英語の辭典によれば、いろいろ、深い意味のことが示されてある。即ち Credit なる語は Belief (信心)、Trust (信頼)、Esteem (尊敬)、Reputation (聲望)、Honour (名譽) などが名詞の意味として示され、吾々が従來 Credit を「信用」と譯してきた所以もよくうなづかれるのである。何れにしても、人格的價值のある語であつて、これが賣買取引上の用語に轉化したときに、乃ち Sale on trust (信用賣買) とか、trust in one's ability and intention to pay (支拂の實力と意向に對する信頼) 又は time allowed for payment (支拂猶豫期間) の如き意味をもつるのである。

かの國際信用に於ては、一定期間、一定金額まで外國財團より借入する契約を指すために、この Credit の語を用ひてをることは周知のことである。かゝる Credit の設定を Establishment of Credit とよび、一國の政府又は中央銀行が借主となつて、外國の銀行と借入金額を設定し、必要の生じたる時は何時にても借出しのできると云ふ契約の締結をさしたものである。例をあげれば、1925年、英國が紐育の金融業者と三億弗の Credit を Establish (設定) し、金解禁を無事に斷行しえたことがある、爾來、諸外國にても金解禁を爲す場合には紐育又はロンドン等に Credit を Establish するを例としたのである。Letter of Credit (信用狀) にも establish を用ひてをるがこのときは信用狀の開設と云ふ。

これを要するに Credit の語意は、人間のもつ Confidence=firm trust (確實なる信任)とか、Reliance (信頼) の意味を濃厚にもつてをる語で、一言にして云へば、今日まで使用された「信用」につきるのである。

(Credit の定義)。然らば、吾々の研究せんとする Credit につき、學者の與へてをる定義はいかなるものであるか、これを列擧することは、餘り必要とせぬ。一二をあげて、一般を知りたいと思ふ。

1. Credit is the power to obtain goods or services by giving a promise to pay money (or goods) on demand or at a specified date in the future.—Johnson.

(信用トハ、將來或ル特定期日ニ於テ、又ハ要求ニ從ヒテハ即坐ニ、其ノ代金ノ支拂ヒ (又ハ商品ノ引渡シ) ヲナス約束ニ基キ、商品ノ買取又ハ勞務ノ使用ヲナスカヲ云フ。)

2. Credit is a privilege, extended by the seller to the buyer, entitling the latter to the use of money, commodities or services, for a period of time, based upon confidence in the buyer's ability and willingness to pay a definite sum of money, or its equivalent, at the expiration of the specified period.—Ycung.

(信用とは賣方より買方に與へられた特典であつて、買方に一定期間、金銭、商品或は勞務を使用しうる權利を與へたものである——この特典は、特定期間満了の際、一定の金額或は其の等價物を拂渡しうる買方の實力と誠意とを信認することに依つて生ずるものである。)

3. A credit is the present right to a future payment. (MacLeod)

(信用は将来の支拂に對して有する現在の權利である。)

(二) Information の語意

この語は Enquiry の相對語であつて、Enquire (問合す) されたので、inform (回答する) すると云ふ意味の語である。

“to give information with Mr. Nakamura against (on).……”

(何々の件に對し、中村氏に御通知する。)

with の次には Person (人) をもち、against 又は on の次には Matter (事柄) がくる。かくの如くにして、通信文に於て、この語を用ふるとき、單獨に使用さる、こと少なく、Writer (筆者) の Enquiry に應じて受信者が inform するときの用語である。

こゝに注意すべきことは、Enquiry の相對語として Reply のあることで、この場合 Reply は answer と同じく、先方の Question に對して回答する場合の Response であるけれども、Information の場合は Reply であると共に、相手方に對し、其の Reply すべきことにつきて、Knowledge (智識) 又は Explanation (説明) を與へ、Intelligence (情報) を示すことである、それ丈け内容的に Reply とは相違の存在を知らねばならぬ、故に、次の如き名稱も生れてくる。

Railway Information Bureau (鐵道案内所)

Credit Intelligence Office (興信所の類)

若少し、用語上から書いてみれば、

“Reply” の場合の英文としては

In reply to }
 Replying to } your enquiry of……we……

(何月何日御照會に對し、御回答申上げ……)

“information” の場合

We inform you of (that)……(that 以下の名詞節を用ひざるときは “of” を決して落してはならぬ。)

Reply の場合は前述の通り、照會狀に對する response である。而して、Information も亦、尋ねられてなす通告ではあるけれども、單なる「御通知申上候」と云ふ應對的の用語ではないのである。乃ち先方より Enquiry のに對し特に詳細なる報告をなす場合のもので、先方に何等かの智識を與へる程度の通信であることを知らねばならぬ。當方から通知をなすときに We wish to inform you……で起筆する習慣があるけれども、これは本當の使用法ではなく、Enquiry がないならば、information も當然ないものを知るべきである。

(Credit Enquiry と Credit Information) 上述の如き考察の下に Credit Enquiry と Credit Information とをみれば、語意自ら明白となるわけで、前者は「信用照會で」、後はこれに對する「信用報告」である。而して、この兩用語

は相対的關係のもので、別離し得ざる信用調査の用語であるから、時として双方に調査照會と譯せられてあるのである。かるが故に、一般に、信用調査と云ふことも、Credit investigation と云はずして、其の調査機關に對する申込 (Enquiry) 及其の機關よりの報告 (Information) をも共に稱して云つてをるかの如く思考される。然らば其の機關とは何か。

(Sources of Credit Information)。普通、銀行に於て Source と云ふ語を用ひてをるが、これは Origin (起源) と云ふことで、Information. 即ち、信用調査報告の流れ出づる源泉と云ふ意であつて、歸するところ信用調査機關又は機能と云ふことになる。

これを直接 (Direct) と間接 (Indirect) の二種に別けてみる。

Direct:

- a. Traveller's (or Salesman's) Reports——(地方出張員 (或は販賣員の) の個人調査報告)
- b. Credit Department (或は Credit man's) Records——(信用調査部 (信用調査係) の記録)

Indirect:

- a. Mercantile Agencies (興信所の類)
- b. References-(Trade or Bank)——信用照會先(同業者及銀行)

以下順序を逐ふて研究してみる。

(Traveller's Salesman's Credit Information)は、米國にて Salesman's Report と云つてをるものは、専門的 Travelling Reporters (巡廻信用調査係)、Credit Representative (信用調査代理人)と違ひ、地方に出張して、Customers と販賣上の接觸をしながら、其間に信用の調査をなすもの、又は註文受入と同時に顧客に Record を提出して記入を乞ふなどのことをなすものもある。これ等は外國貿易にはまだ利用されないが、早晚應用される時がくると思ふ一例を参考のために示せば

Salesman's Customer Report (出張員の得意先信用報告)

Date19.....
(日 附)

Amount of Order \$.....(註文高)

Sold to (得意先名)

Address (所在地)

Name of officers :

Age :

Married or Single

(店主の名)

(年 齡)

(既婚又は未婚)

Kind of Business : (營業の種類)

Estimated Value of Stock : (在庫品概算價格)

How long in Business: (営業年数)

Condition of stock: (在庫品状態)

Carrg Insurance: (保険契約の有無) Amonut: (保険金額)

Safe Amount of Credit to allow: (信用貸の安全金額)

Estimated Amount of R. E. owned: (不動産の概算額)

Character of individuals conducting business: (従業員の個人的人格)

Business ability: (営業上の手腕)

Name of Bank: (取引銀行名)

Buys from Firms named below: (購入しつつある他店名)

Write your personal opinion of this customer on reverse side. (裏面に当該得意先につける自己の意見を發表せよ)

(Credit Department Records)。

近代商社の發達につれ、分業制度は其の色彩を濃厚にし、Sales (販賣)、Correspondence (文書)、Shipping (積送)の各 Departments (課) 等々に加へて Adjustment (和協)、Claim (苦情調査) の部門も出來てきた。されば、

これ等の Office Departments の中に Credit Department のあることも蓋し當然のことと思ふ。この特殊機關を通じて、得意先の信用状態の調査研究をなし、これを Filers に登録するのを以て使命とする。従つて、この機能を發揮するためには、Sales department や collection department (代金取立部) 等と密接なる關係を保ち、相共に、所屬商社の利益増進を計るものである。

且又、外部の商社とも相互扶助の精神を以て、Credit men's Association (Memphis に初めて設置せられた信用保聯合會) や Merchants Credit Asso. (桑港に生れた商人信用聯合) 等の機關を通じ、相互的に調査の交換をなし、其 Cards (記入カード) を保存し、時々訂正又は補充することをなす。

(National Association of Credit men)。1896年米國のオハヨ州 Toledo 市にて全國的會合組織ができたもので、下記の Blank Form は参考になるから摘録する。

OUR EXPERIENCE (當方の經驗)

Keep this for your file (本表保存ありたし)

Mesrs.....(先方宛名)

New Britain, Conn. (當方所在地)

.....(所在地)

We have.....order, \$.....

(受入註文の種類及金額)

From(註文先名)

P. O.....(Post Office Address)

Kindly favor us with your experience and opinion,

Yours truly (商社名)

(This blank is adopted and recommended by the National Association of Credit Men, of which we are member.)

How Long Sold ?(取引期間)

Terms(支拂条件)

Highest Recent Credit, \$(最近の最高信用金高.....)

Owes \$(未拂勘定)

Past Due, \$(期限切勘定)

Pays.....(決済勘定)

Other Information(他の報告)

これは Duplicate form (二通書式) にできてをり、先方より返却すべきものには、其の Heading (見出し) に "Return this to us" と書いてある。要するに相互に第三者商人の信用調査記録を一枚宛保存しをき、他日の参考とするわけである。

上述の如く信用の調査に當る人を Credit man (調査係) とよび、其の Department に Head たるものを Credit

Manager と稱してをる。従つて Credit department をさして Credit men とよぶこともあるから、すべてこれ等は信用調査の人的機關であると思へばよいのである。

この外、いろいろの機關があつて、信用調査を科學的に行つてをるものがあり、研究に價するものが多々あるけれども、先きを急ぐのと、紙數に限りがあるため、この邊に筆を轉じ、Indirect Method (間接方法) について少し書いてをきたい。

(Mercantile Agencies) これは Credit Enquiry Office (信用照會所)、即ち、日本に於ける興信所のことである。この機關を通じて得意先の信用状態 (Credit data and standing) 調査報告の供給を受くるのであるから Indirect source である。

英國にて 1776 年 London Association of Guardians for Protection of Trade なるもの設立せられ、後に Trade Protection Society (商業興信協會) となり、協會員相互の参考とすべく商業信用調査を以て業務とするに至つた。

米國に於て Mercantile Agency の生れたるは (1841) である。この國の經濟恐慌は周知の如く 1827 に襲來し、國內の Credit system は四離滅裂し、商人の信用調査の途亦杜絶した時に、彼の Lewis Tappan (1788—1873) がこの機關を案出したと傳へられてある。Tappan は米國の著名なる財界雜誌 Journal of Commerce の Founder であり、且つ亦、有名なる Anti-slavery leader (奴隸廢止論者) であつた。Tappan につきては、後にもうすこし書いてみたい。

(Dun's & Bradstreet's の歴史) 餘り横道に入るやうであるけれども、國際信用機關としての Dun & Bradstreet を研究するのは決して無益でないと思ふから、敢て筆を進めるわけである。

この Mercantile Agency は R. G. Dun & Co. and The Bradstreet Company の畧語である。

1825年のパニックに先立つ十八年間は、米國歴史に於ける國內開發の全盛期であつて、彼の Erie Canal は1825年に開鑿せられ、各鐵道の敷設も同時期であり、移民の範圍は西部米國に向つて擴大されてきた。かくして、國內産業は驚くべき開發の緒につき、外資の輸入も起り、金融の活動亦目覺しきものあるにいたるや、好況に供ふ Speculative Operations (投機的企業) 各所に行はれ、信用制度は極度の危殆に瀕し、終にパニックの渦中に投ぜらるゝに至つたのである。其の頃、Arthur Tappan & Co. は Silk の大商人であつて、其兄弟 Lewis Tappan と共に事業に従事したのであつたが、この Panic のために一敗地にまみれたのであつた。しかるに、Lewis Tappan は信用調査の技量を有したため、この危機に善處しつゝあつた。のみならず、この特殊の調査技能は他の商人等にも亦利益を齎しつゝあつた。終に彼等の勧めにより、Credit Reporting Bureau を設立するに至つたのである。さらに1841年八月一日にいたり、“The mercantile Agency, Lewis Tappan & Co., Proprietors” なる商號の下に開業するに至つたのである。一方又、オハヨ州、Cincinnati 市の Lawyer であつた John M. Bradstreet も、このパニック中であつて難局に處し、職掌柄、債權債務者の信用調査材料を集めて、これを多數の紐育商人に供給しつゝあつたのである。1849年に Bradstreet Improved Commercial Agency が開業され、1876にいたつて、The Bradstreet

Company と組織を変更したのである。

(Dun's & Bradstreet's Method) 詳細に涉りて、この二大興信所の信用調査報告を述べることは、本研究ではできないから、二三の點につきて少し書いてをく。Dun's and Bradstreet's の調査に關して知るべきは、かの Commercial Reference Book と Credit Rating である。前者は Directory (人名録) 兼信用記録で商業信用録とよび、後者の Credit Rating, 即ち Grade of Credit (信用等級) を記録してをるものである。この Reference Book は年四回訂正せらるるものであつて Subscribers (購讀會員) に配付せらるるものである。而して Rating とは Grading のことで、商店商社の Capital と Credit を調査の上信用状態を Capital の高に從ひ A, B, C, D. の記號を以て等級付けることである。更に亦、Special Reports (特殊報告) なるものが、會員よりの要求に從つて調査の上送達せられる。この報告の内容は詳細を極めたものであつて、興信所の秘密調査もこれに倣つたものである。海外の信用調査報告の料金は、一回三弗であつて、廻數五十回より百回までは別に料金を規定してをる。下に Key to Ratings (信用等級の解式) を引用してをく。

Bradstreet's

<u>Estimated Wealth</u> (見積資産)		<u>Grades of Credit</u> (信用等級)		
G.....\$ 1,000,000	and above	1 st	2 nd	3 rd
H.....500,000	to \$ 1,000,000	Aa	A	B

J.....	400,000	to	500,000	}	A	B	C
K.....	300,000	to	400,000				
L.....	250,000	to	300,000				
M.....	200,000	to	250,000				
N.....	150,000	to	200,000	}	B	C	D
O.....	100,000	to	150,000				
P.....	75,000	to	100,000				
Q.....	50,000	to	75,000				
R.....	35,000	to	50,000	}	E	F	O
Y.....	500	to	1,000				
Z.....	0	to	500				

(中 畧)

(Special Report) 一例を下に引用してをく。

1. { 290-8-29-24. (番號、年月日)
 AKORN HARDWARE CO.
 (商 社 名)

New York, N. Y.

429 Broadway.

(所在地)

2. Pres. (社長名)
 Vice-Pres. (副社長名)
 Sec. & Treas. (秘書兼會計)
 Directors. (取締役名)
3. 会社の歴史を詳細記述
4. 会社の貸借対照表
5. Fire Record (火災につける記録)
6. General Remarks (これには次の如き判定を發表してをる)

The company occupies large-size store and warehouse, and is doing a general hardware and factory supply business, which is believed profitable. Personally those interested are well regarded, of good business ability and good habits.

(當會社は廣大なる店舗及倉庫を有し、各種金物類、及工場用品の販賣に従事し、利益を擧げつゝあるものと信ず。經營者は各々、好評をうけ敏腕家にして人格ある人々なり。)

(他の Mercantile Agencies) Public Institutions としての Credit information Offices を擧げて參考に供してをく。

(日本) 帝國興信所—The Teikoku Koshin Sho (The Imperial Mercantile Agency),

大阪商業興信所—Osaka Shogyo Koshin Sho. (The Osaka Mercantile Credit Agency)

(英 國) Stubbs, Ltd., London.

Kemps, "

(獨 逸) W. Schimmelpfeng.

(佛 國) La Société du Commerce.

(和 蘭) Van der Graaf & Co.

(Bank & Trade References)

Reference の語意。これを公式にしてみれば、

Refer (相手) + to (問合せ先き) + for (事柄) となる。

即ち、(其の事柄に對しては、誰々問合せ先きに、御照會 (Refer you to) ありたし) と云ふことになる。

Refer (目的) to は“差向ける”、“尋ねさせる”、“参考させる”と云つた意の語である。故に Refer には you の目的を持ち、to の preposition を取つて其の次に問合せ先きが來り、最後に for をもち其の問合せ事項がくるのである。例を示せば、

We refer you to the Yokohama Specie Bank, Ltd. for our credit standing.

(當方信用状態に對しては、横濱正金へ御問合せ被下度候)

For further particulars, we refer you to the Mercantile agency here.

(尚ほ詳細事項につきましては、當地興信所に御照會被下度候)

かくして、Reference は Common noun としては“信用照會先”となり、時としては、“人物證明書”ともなる。故に I have a good reference と云つた場合は、よき照會先、よき證明書、よき保證人と三つの異なる意味をもつことになる。要するに、Reference は“行きて尋ねる”こと to trace することであるから、“参考”と云ふ語であるから、Referee は審判者と譯しても Umpire (判定者—one who decides) とは多少相違のあることも頷かるゝのである。

こゝには Reference を照會先として研究するので、はじめに Bank Reference (Banker's Reference)——銀行照會先についてかく。

(銀行照會先) A輸入商がB輸出商と Credit transaction を開始せしめんとする時、BはAに對して Satisfactory reference の提供を要求する。

Aが若し注意深き商人なれば、取引開始の交渉中進んで自己の Bank reference を提供するであらう。さて、AはBに自己の銀行名(支店名)を通知する、そこで、Bは亦自己の銀行に依頼してAの銀行照會先にAの信用状態につき報告を求む(銀行を通ぜずしてB自ら銀行照會先に問合すことあり)Aの銀行はBの銀行宛に秘密の信用状況を通知し、かくしてBはAの信用如何を知り、取引成立につき判断を下すのである。

これ等の Banks は外國貿易にては Exchange Banks (爲替銀行) であるのを常とす。例へば倫敦商人が横濱正金神戸支店を Bank Reference として通知してたとすれば、照會を受けた正金支店は調査の上、秘密に當該商人の信用状態を報告する。下記を一讀せば其の概念をつかみうらと思ふ。

Dating.....

To the manager of
The Yokohama Specie Bank, Ltd.,
Kobe

Dear Sir:

Messrs. Dogtail & Co., 140, City Road, Finsbury Square, London, E. C. 2 are desirous to open an account with us and have given us your name as a reference.

Please be kind enough to favour us with your confidential opinion as to their financial standing and whether we may with all safety grant them a credit up to £ 5,000.

Trusting you will excuse our troubling you and thanking you in advance, we are

Yours truly,

Kagawa Shokai, Ltd.

(評註) To the manager of の of をとりて Comma にしてもよい。先方の Name and Address を別行に
目につきやすくしてもよい。to open an account 取引開始。Confidential opinion 内密の御意見。financial
standing 財政上の地位 (position)。with all safety 全く安全に。may grant=may give。up to まで。Trusting
は米國式にせば、We trust that。

(同上回答)

Dating.

The Kagawa Shokai, Ltd.,

Kobe,

Dear Sirs,

In reply to your favour of.....inst. as

to

Messrs. Dogtail & Co.,

140, City Road,

Finsbury Square,

London, E. C. 2.

We here with transmit a confidential information from a certain reliable source, which, however, we submit without guarantee or responsibility on our part: —

They are considered to be a very respectable and steady firm with an improving business but limited means, and your first-mentioned amount would at present be the preferable credit.

We trust that the above information will be of service to you.

Yours very truly,

The Yokohama Specie Bank, Ltd.,

(.....)

Manager

(評註) Herewith transmit 本状にて轉送する。acertain reliable source 或る信んすべき筋 (銀行は他の調査機關又其の土地の本支店)を通じて材料を集めつゝあり。without guarantee or responsibility 保證又は責任を負はず。on our part 當行にて。respectable and steady firm 評判よき確實なる商店。improving business but limited means 營業は盛んなれども、資金充分ならず。Your first-mentioned amount 前回御通知の金額 preferable credit 格好の信用。will be service to you 御用に立つものと。

(參照) 拙著 A. B. C. P.P. 121—122.

(Trade Reference) この同業者(仲間)照會先は Bank Reference 程確實性を有せず、外國貿易には餘り効力はないと思ふ。さりながら、商取引を開始するに當りては Reference を提供するを以て、殆んど原則とするが故に、普通 Bank Reference と共に Trade Reference を通知するものが多い。Sellers としても、初回取引に際し、Buyers に對して Reference の提供をなさしむるものもあり、いづれにしても Trade Reference は同業者の信用につける Report であるから、其の確實性につき一長一短あるは到底まぬかれぬ。乃ち、個人の經驗と觀察は時として信賴を缺ぐ場合もある。これに反して、個人的經驗又は觀察は Bank の調査よりも、より以上參考材料となるやも計られざるものである。要は其の Reference たる商社が誠意を以て回答報告なすや否やによりて、信用判定の目的を果しうるものである。下記は拙著 A. B. C P-124 の往復文を材料としたものである。

(當方發信)

大阪市、山田父子商會御中

拜啓、御市横田商會殿には當店に取引開始を申込まれ、貴店名を照會先として提供被致候、就ては、同店に對し、掛賣を例えば金一千圓也程度まで、許して安全なりや否や、且つ、同店は代金支拂に迅速に致し居候や否や、御意見何卒御漏し被下間敷候也。

切手貼附返信用封筒を封中致置候間御受取被下度候、御返事相待ち居候。

敬 具

中 村 商 會

(同上、好都合なる Credit Information の和文英譯甲)

We have received your letter of 3rd inst. Messrs. Yokota. & Co. referred to are one of our important customers in this city. They possess a considerable amount of capital and enjoy an unlimited confidence in this locality. In addition, the head of this firm is a merchant with a thorough knowledge of business routine.

When you therefore open an account with this firm, you will not have least trouble with them, and shall surely be satisfied with their mode of doing business,

However, we hope you will take note that the above reports will not make us responsible.

(評 註) referred to 御照會の御尋ねの。possess 有し。enjoy unlimited confidence の enjoy は歡受し、confidence は信頼。in this locality 當地方にて。head は主人なれば、責任者とす。business routine 商業實務。thorough knowledge 完全なる智識。will not have least trouble 些の面倒もなく。surely 必ず。mode of doing business 營業振り。take note 御承知。not make us responsible 當方に責任を負はしめず。

(同上、不明瞭なる旨の Information の和文英譯乙)

As to the firm referred to in your letter of the 5th inst., we regret to say that we are not able to make any definite reports. We have not dealt with this firm for a long time. If the reports issued by the Mercantile Agency could be believed, they are said to have started recently a business of rather risky speculative nature, with an exceedingly large sum of money, for their capital.

From other sources we are told that they are very punctual in their payments. In truth, we are in some doubt as to what report should be made in regard to the financial standing of the firm in question.

We hope to be better able to assist you on the occasion of your next enquiry.

(同上 Credit Information に対する禮狀) P-125

We have just received your letter of yesterday's date giving us reports on Messrs. Yokota & Co., and wish to say that your information has certainly been an aid in determining the opening up connections with them.

We thank you for your prompt compliance with our enquiry assure you that your information will be treated in the usual confidential manner.

(評註) 決定するに當り in determining。参考となる been an aid。早速應じ被下 Prompt Compliance with 平素の通り秘密に in the usual confidential manner。

(評註) 何等確實なる御報告致し兼ね not able to make any definite report。永らく取引致し不申 have not dealt with this firm for a long time。事實とせば could be believed。危険なる投機事業 risky speculative business。他の方面 other sources。支拂甚だ正確 Very punctual in their payments。不明の立場 are in some doubt。一層御役に立ち be better able to assist。他日の御用 your next enquiry。

(Credit Enquiry の構文)

- a. Please (Kindly)
 - b. Be kind (good) enough
 - c. We should be (much) obliged if you would (御通知被下候はゞ難有存候)
- } 何 卒
- } inform us (let us know)
(御通知下され度候)

關して	}	as to	}	financial standing (status, position) (資産状態、地位)
		with regard to		general reputation (世評)
		as regards with respect to		respectability (名望)
		relative to		trustworthiness (信用)
				reliability (同)
		business conduct (habits) (營業振)		
				mode of doing business (同)

business ability (營業上の手腕)

Business principle (營業上の主義)

Business policy (同 方針)

firm's stability (商店の確實性)

pecuniary resources (資産額)

solvency (支拂能力)

上記構文に先立ちて、照會すべき相手方の名稱、住所を發表すべきことは申すまでもない。然らざれば何人の信用状態を照會せるものが不明となる。又上記の照會目標は、主として一般的信用状態にあるのであるが、信用を與ゆべき金高を示して、其の安全程度につける意見を徴してをるものもあることは、すでに示した例文の通りである。

(Credit Letters の特徴)

(1) Confidential treatment (秘密取扱)

信用照會及回答は秘密に取扱はるべきは當然なれども、念の爲めこれ等につける意見意志表示をなす。

a. Your reply will be treated in strict confidence.

(御回答は極秘に取扱ひ可申候)

b. Any information you may give us with will go no farther.

(御通知被下候事柄は他に洩らすこと有之間敷候)

c. Any report you may favour us with will, of course, be treated as strictly confidential.

(御報告は厳秘に致すべきは申すまでも無之候)

(2) 信用照會當面の商社名取扱上の注意。

普通はこれを書中に記載發表しをれども、注意深き商人は、照會先に迷惑をかけざんがため、次の如き方法をとるものがある。

a. Let us know your candid opinion as to the solvency of the firm mentioned on the inclosed slip of paper.

(封中紙片に記入商店の支拂能力につき、公平なる御意見承り候)

b. 當該商店名を署名の左下隅に記載し、文中には the house named at foot hereof (本書中下記の商店) とのみ書くものもある。

c. 信用状態につき不明なる回答をなすとき、當該商社名の發表をしても、別に其の商社にとりて迷惑とはならぬ。しかし信用の良否其の孰れかを發表するときは、これが漏洩を避けるため照會文中には商社名を明白に發表せざるをよしとされてある。かゝる時には、當該商人又は商社名を Abbreviate (畧記する) する、即ち、Messrs. B. S. Co. about whom you inquire (御照會の B. S. Co.)、又は The firm referred to (御問合せの商會)

或は The company mentioned in your letter (貴翰に御示しの會社) 等と當該商社を暗示するのをよしとする。

(3) 責任回避の意志發表。

信用照會に對して回答は Reference として當然なすべき義務あるものとす。しかれども一商社の信用状態を報告することは、其の内容の善惡何れを問はず、回答者として後日の責任を回避せんとするは蓋し當然の事である。特に銀行の如き金融機關にありては公平なる立場に於て其の意志表示をなすは法律上よりも道德的よりも必要なことである。下記は銀行に照會したる場合、其の回答書にある文である。

This information is given in strict confidence and without responsibility on the part of this bank or any of its officers.

(本回答は極秘にて銀行側及び其の行員に於て責任を負はざるものとす)

The undernoted opinion is given on the express condition that you hold Bank and its servants free from all liability in respect of it and indemnified against any liability to any customer or other person to whom you communicate. (この注意書は信用報告文に貼附せられてある)

(下記の意見は貴下が其の意見に關し銀行及び其の行員に全然責任を負はしめず、且つ、貴下がこの意見を漏らされたる貴下の顧客或は他の人に對する如何なる損害にても其の賠償をなすと云ふ明約に基きてなされたるものである)

No responsibility is assumed as to the business standing of the persons or firms named below.

(下記に示す個人及び商會の營業狀態に關しては何等の責任を負はざるものとす)

(4) Reciprocation (應酬の表示)。

信用照會にして trade reference に對する場合の如きは、先方に面倒をかけたのであるから、先方より同様の調査報告を依頼されたときは、喜んで reciprocate すると云ふ相互扶助の心持ちを表示すべきである。

a. We shall be happy to have an opportunity of reciprocating to you on the similar occasion.

(御同様の件有之候際は悦んで御返報可致候)

b. We are always willing to be of service to you in the similar case.

(御同様の場合には、何時にても喜んで御用相勤め可申候)

(5) Return-envelope と international Coupon (返信用封筒と國際返信用切手)。

先方よりの返信を便利ならしむるため、次の如き考慮は拂はるべき性質のものである。

Enclosed you will find a stamped and self-addressed envelope, (an International Response Coupon).

(切手貼付返信用封筒或は(國際返信用切手券)封入致置候間御受納被下度候)

(Credit Information の種類)。

a. Favourable Information (信用良好なりとの回答) A. B. C. P-119甲参照。

- b. Unfavourable Information (信用不良なりとの回答) A. B. C. P-120丙参照。
c. Obscure Vague Information (信用につき不明瞭なる回答) A. B. C. P-120乙参照。

1. (Favourable Information の慣用句)。

The firm referred to is a highly respectable and well-founded concern.

(御照會の商會は、極めて信用厚く基礎確實なる商店に有之候)

There is no risk in entering into credit transactions with this merchant.

(本商人と信用取引開始につきては何等の危険無之候)

We are able to speak of Messrs. & Co. in the highest term of praise.

(.....商會に對しては大に賛辭を呈しうる者に有之候)

We have no hesitation in giving them credit to an amount considerably beyond the sum you mention.

(當方は御申越の金額より多額の信用貸しを何等の躊躇なく致すものに有之候)

We are of the opinion that you may safely grant unlimited credit to the firm mentioned.

(當店の意見としては、御申越しの商會に對し無限の信用を與へられて安全なりと考へ居り候)

2. (Unfavourable Information の慣用句)。

Our relations with the firm referred to have not been altogether satisfactory.

(御申越の商會との小店取引關係は、全く不満足のものに有之候)

At the present they cannot obtain credit at all in the trade.

(現在の處、同業者の信用を全く受けえざる有様に御座候)

We regret to say that we cannot learn anything in their favour.

(乍残念、同店に有利なる事は一向に聞及び不申候)

We regret that we are unable to send you a really satisfactory report as to the above firm.

(乍残念、上記商店につき充分御満足なる御報告を申上難く候)

We should say it is advisable not to grant credit.

(信用を與へられざることを得策なりと存じ候)

3. (Vague Information の慣用句)。

Our relations with the firm referred to are so small and of such a trivial nature that we are not in a position to form opinion as to their stability.

(御照會の商會と小店との取引は甚だ僅少にて且つ取立て云ふべき程にも無之、従つて同商會の信用につき意見を立て兼ねる次第に御座候)

We know nothing as to the firm's standing, and could not say whether they would be trustworthy agents

or not.

(同店の資産状態に關しては何等承知不仕候間、果して信賴しうべき代理店なりや否や御回答申兼候)

We regret to say that we are not in a position to form a definite opinion as to the financial status of the firm in question.

(乍遺憾、當店は當該商店の財政状態に關して確實なる意見を發表しうる立場に無之候)

We have done no business with the said firm as yet, and so, are unable to give any definite information.

(當店は該商會と未だ嘗て取引をなしたること無之、従つて確實なる御報告を致兼ね候)

(附 言) 今日まで、回を重ねること七、商業英語と貿易通信の研究を發表しコレボン學徒の參考に供して來たが、都合により今回のものを以て、一先づ打切ることにした。他日また機會を與へられたる際、引續き紙上に於て讀者諸彦に相見えんとする光榮を留保したい。云ふまでもなく、現今の學徒は理論に於ては百日の長ありと雖も、實學に於ては日暮れて道尙ほ遠しの嘆を聞く。かるが故に各種學校にて發行しつつある、この種定期刊物は、所謂 Pedantic を以て終始せず、學生中心の實學指針たるべきを期したいものとの老婆心から、敢て菲才を顧みず筆を呵したわけであつた。幸に微意のあるところを了とせられ、今後の御指教を希望すると共に、寛大なる本誌當局が今日まで與へられたる公平なる態度に謝意を呈するものである。——九月十五日